

---

九州運輸局メールマガジン 平成 28 年 9 月 23 日 第 341 号

～運輸と観光で九州の元気を創ります～

<http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/>

九州運輸局メールマガジンをご愛読くださりありがとうございます。

九州運輸局メールマガジンは隔週の木曜日にお届けしています。

(今週 9 月 22 日は秋分の日で閉庁日でしたので、翌 23 日のお届けとなっています。)

次回の発行日は平成 28 年 10 月 6 日 (木) となります。

---

## ◆ 目次

### 1 現場レポート

・平成 28 年度第 1 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰を行いました～自動車運送事業者 7 社へ表彰状を授与～

・福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議を開催しました～11 月の過積載絶滅運動強化月間に向けて協議～

・平成 27 年度国土交通白書説明会を開催

・九州地方の自然災害と防災について～運輸コロキウムで福岡管区気象台長が講演～

・外国人 PSC 検査官の船上実習を実施～PSC の国際調和を目指して～

・9 月は船員労働安全衛生月間を実施中です～船員の災害防止に向け、各地区で訪船や講習会等を実施しています～

・小型船舶に対する安全キャンペーンを実施しました～小型船舶の安全確保に向けて～

・退職自衛官の再就職先に内航海運を PR ～佐世保の海上自衛隊で「海事セミナー & 海運企業説明会」開催～

### 2 お知らせ

・くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！～レイルフェスタ九州2016～

・第 20 回海事立国フォーラム in 北九州 2016～アジアへのゲートウェイとしての北九州～

・9 月、10 月の「自動車点検整備推進運動」強化月間、実施中～点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活～

・「秋の全国交通安全運動」実施中です～9 月 21 日から 30 日まで～

・九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

### 3 九州運輸局ホームページアップ情報

・報道発表

・お知らせ

・更新情報

---

#### 1 現場レポート

◆平成 28 年度第 1 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰を行いました

～自動車運送事業者 7 社へ表彰状を授与～

◎九州運輸局では、平成 28 年度第 1 回自動車運送事業者の自動車無事故表彰を行い、所定期間中にその責任に属する自動車事故がなく、かつ、運輸業務の成績が優良であった自動車運送事業者 7 社を表彰しました。

#### ◇概要

・「平成 28 年度第 1 回自動車運送事業者の無事故表彰」では、輸送の安全確保に実績のあった自動車運送事業者を九州運輸局長が平成 28 年 8 月 31 日付けで表彰するもので、各支局の無事故表彰伝達式において支局長より表彰状を授与。

#### ◇内容（無事故表彰者）

- ・福岡 [有限会社タカラ観光バス（貸切バス）、株式会社富士鳩急送（トラック）、宝生流通システム株式会社（トラック）]
- ・熊本 [有限会社小鳩運送（トラック）]
- ・大分 [有限会社山橋商事（トラック）]
- ・宮崎 [株式会社霧島商事（トラック）]
- ・鹿児島 [鹿児島中央観光バス株式会社（貸切バス）]

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

平素より関係者全員と一致協力して、事故防止に努力されてきた受賞者の皆様に心より感謝いたします。今後も、他の模範となり事故防止により一層努められることを期待するとともに、自動車運送事業の安全の確立を目指していきます。

◇各支局での伝達式の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_1.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_1.pdf)

---

#### ◆福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議を開催しました

～11 月の過積載絶滅運動強化月間に向けて協議～

◎福岡運輸支局では、9 月 6 日に、福岡合同庁舎新館において、第 40 回目となる福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議を開催しました。

#### ◇概要

・福岡運輸支局のほか、福岡県、福岡県警察本部、福岡国道事務所、福岡県トラック協会などの 17 関係機関が参加。11 月の過積載絶滅運動強化月間に向けての協議を実施。

#### ◇内容

・福岡県貨物自動車過積載防止対策連絡会議では、毎年 11 月を「過積載絶滅運動強化月間」と定めており、会議では、今年度の実施要綱（案）が提案され、「交通事故ゼロをめざして過積載を絶滅しよう。」のスローガンのもと、「広報啓発活動の強化」「街頭取締り」「荷主団体への協力要請」などの取組の実施を承認。

#### ◇福岡運輸支局からのメッセージ

過積載運行は、道路交通秩序を阻害するばかりではなく、死亡事故等の重大事故を惹起する要因となります。過積載運行の絶滅を目指して、今後も全力を挙げて取組を行っていきます。

◇会議の模様と会議構成員は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_2.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_2.pdf)

---

◆平成 27 年度国土交通白書説明会を開催

◎九州運輸局は九州地方整備局と共催で、9月15日福岡合同庁舎新館にて、平成27年度国土交通白書説明会を開催しました。

◇概要

- ・国土交通省では、平成14年度から国土交通行政の取り組みや政策課題を取りまとめた国土交通白書を公表しており、白書の幅広い周知を図るため各地方局にて国説明会を開催。
- ・九州地区の説明会には、国土交通省総合政策局政策課政策調査室から山内課長補佐、小林主査の2名が講師出席。
- ・九州各地の運輸業界・建設業界・行政関係者等約100名が参加。

◇内容

- 第1部：我が国の経済成長を支える国土交通行政の展開  
～生産性革命をもたらす戦略的なインフラマネジメント～
- ・我が国の経済と国土交通行政の関わり
  - ・生産性革命をもたらす戦略的なインフラマネジメント
  - ・新たな市場の開拓・拡大、担い手の確保、新技術導入等
- 追部：平成28年（2016年）熊本地震への対応
- 第2部：国土交通行政の動向

◇九州運輸局からのメッセージ

国土交通白書は、国土交通省の所掌事務全般に関する年次報告として毎年作成され、閣議配布されており、白書を通じて国土交通行政についてご理解を深めていただくひとつの機会として説明会を実施しています。国土交通白書自体は、総頁数367ページとかなり充実した内容となっておりますので、業務に関連する部分だけでもご覧いただくと国土交通行政に対する理解をより一層深めていただけたと思います。

平成27年度国土交通白書は、国土交通省のホームページからご覧下さい。

<http://www.mlit.go.jp/hakusyo/mlit/h27/index.html>

◇国土交通白書説明会の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_3.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_3.pdf)

---

◆九州地方の自然災害と防災について

～運輸コロキウムで福岡管区気象台長が講演～

◎公益財団法人九州運輸振興センター主催の「第59回運輸コロキウム」が、福岡市にて開催され、横山博文・福岡管区気象台長が講演を行いました。

◇概要

- ・9月5日、ホテルセントラーザ（福岡市）、運輸・観光事業関係者など約100人が参加

#### ◇内容

- ・主催者挨拶：大黒伊勢夫・(公財)九州運輸振興センター理事
- ・来賓挨拶：中下真一・九州運輸局総務部長
- ・講師：横山博文・福岡管区気象台長
- ・テーマ：九州地方の自然災害と防災について～激甚化する自然災害から命を守る～
- ・意見交換)

第 59 回運輸コロキアムの詳しい内容は、(公財)九州運輸振興センターのホームページをご覧ください。

<http://kyushu-transport.or.jp/colloquium/>

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

ここ九州でも、今年 4 月の熊本地震や、昨年 5 月の口永良部島での火山の噴火、そして平成 24 年 7 月には北部九州豪雨など、大きな自然災害が身近で起こりました。また、台風や集中豪雨による災害も少なくありません。自然災害の脅威は身近に潜んでいます。まず一人ひとりが命を守り、そして運輸事業の最も基本とすべき安全の確保のため、防災・減災体制の構築を目指していきましょう。

◇九州運輸コロキアムの模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからどうぞ。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_4.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_4.pdf)

---

#### ◆外国人 PSC 検査官の船上実習を実施

～PSC の国際調和を目指して～

◎外国船舶監督官は、管内各港に入港する外国船に対し、海上における人命の安全や海洋環境の保全に係る国際的なルールに適合しているか検査を行い、欠陥があれば、それを指摘し是正を図るポート・ステート・コントロール(PSC)を日々実施しております。この PSC をより効果的かつ合理的に実施するためには、近隣諸国との連携を欠かすことが出来ません。そこで、九州運輸局では、アジア太平洋地域における PSC の発展と調和を目的とした東京 MOU の研修事業に例年参画しており、その事業の一環として外国人研修生 2 名を受け入れ船上実習を行いました。

#### ◇概要

- ・ 9 月 5 日から 14 日までの間、ロシア連邦 (Mr. Vladislav) 及びペルー共和国 (Mr. Eduardo) の外国船舶監督官を受け入れ管内各港に入港する外国船において船上実習を実施。
- ・ 東京 MOU (Memorandum Of Understanding : 覚書) とは、「アジア太平洋地域における PSC の地域協力に関する覚書」(正規加盟当局 : 20 当局) のことで、事務局は東京にあり、公益財団法人として運営。
- ・ 東京 MOU に基づき行われる PSC 関連の諸活動を支援する事業は、「MOU 事務局事業」及び「研修事業」。

#### ◇内容

- ・ 今回の船上実習では、6 隻の外国船に訪船し 35 件のルール違反を指摘。
- ・ 中には船舶の火災事故により PSC を実施したケースもあり。
- ・ 当該船舶では重大な欠陥が発見され 3 日間の船舶拘留処分を実施。

・船上実習は、侃々諤々（かんかんがくがく）とやり取りを行う PSC の現場に帯同する形でわれ、研修生も少なからず苦勞することがあったものの、トラブル等に見舞われることなく無事に終了。

・研修生の方々からは、「充実した有意義な研修であった。」との謝辞も。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

研修生の方々は、日本の文化にも深い興味を持たれており、研修中日の休日を利用して彼らと太宰府天満宮や九州国立博物館を訪れました。彼らもつかの間の休日を楽しんでいる様子で、このような異文化交流を通じて互いの理解を深めたことは、その後の研修にも良い影響を及ぼしたものと考えております。今後も、通常業務である PSC は勿論のこと、幅広い業務に取り組み、船舶の航行安全及び海洋環境の保全等を図ってまいります。

◇研修模様と休日の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_5.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_5.pdf)

---

◆ 9 月は船員労働安全衛生月間を実施中です。

～船員の災害防止に向け、各地区で訪船や講習会等を実施しています～

◎船員労働安全衛生月間は、海上における船員労働安全衛生思想の普及、船舶所有者及び船員による自主的な安全衛生活動の促進等により船員災害の防止を図ることを目的として、昭和 32 年度から実施され、今年度で 60 回目を迎えました。

#### ◇概要

・九州運輸局では、各地区の海運事業者、関係団体等と連携をとり、船員災害防止大会、安全衛生講習会、船員無料健康相談所の開設、訪船指導等多様な活動を展開中。

#### ◇内容

[第 48 回九州船員災害防止大会]

・ 9 月 7 日に福岡市内のホテルにて、「持ち越さず その都度改善 危険箇所」のスローガンを掲げ開催。九州全体の関係者 138 人が参加。

・ 船員災害防止功績者の表彰、船員労働災害防止優良事業者認定証及び船員安全推進賞の伝達式、保護具メーカー各社のプレゼンテーション、高崎経済大学経済学部久宗教授による「「WIB（船内向け自主改善活動）について」と題した記念講演を実施。

[九州管内各地の港に停泊中の船舶への訪船指導]

・ 9 月の月間中、九州管内各地の港に停泊中の船舶において、九州運輸局職員、訪船指導員、保健所等の職員が合同で、船内での災害防止対策、食品衛生、飲料水の残留塩素調査等について訪船指導を実施中。

[船舶の乗組員を対象とした訪船診療等]

・ 福岡地区では、9 月 14 日に九州郵船株式会社「フェリーきずな」（1,809 トン）の船内にて、乗組員 17 名を対象に船員保険福岡健康管理センターの医師、保健師による健康相談、保健指導を実施。

・ この他、九州管内各地で、船員法の指定医において、船員無料健康相談を実施中。

#### ◇九州運輸局からのメッセージ

船員災害は人的資源の損失にとどまらず、若年者に船員という職業を敬遠させる要因にもなるものです。月間中の活動を通じ、船舶所有者及び船員等関係者に安全衛生に対する意識の高揚及び船員災害防止対策について一層の推進を図り、今後も継続して取組みを進めていきます。

◇船員災害防止大会等の模様は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧下さい。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_6.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_6.pdf)

---

#### ◆小型船舶に対する安全キャンペーンを実施しました

～小型船舶の安全確保に向けて～

◎九州運輸局では、海上保安庁、九州地方整備局、各県警察本部、地方自治体等と連携し、河川を重点としたパトロールと啓発活動を実施しました。

#### ◇概要

- ・全国で発生した海難事故の7割はプレジャーボート及び漁船であり、そのほとんどが小型船舶。
- ・そのため、海難事故の減少のためには小型船舶の安全確保が重要。
- ・一方、小型船舶の事故原因は、機関等の不具合によるものや見張り不十分で、その多くが不法係留の小型船舶。
- ・九州管内における小型船舶の約57%が不法係留。
- ・九州で発生した小型船事故の73%は不法係留船が起こしており、不法係留船の事故率はマリナー等に所属するものに比べ約2倍の事故発生率。
- ・例年実施している「小型船舶の安全キャンペーン(4月20日～9月30日まで)」の期間中、海上保安庁、警察、河川等を管理する九州地方整備局及び自治体並びにPW安全協会(NPO 法人パーソナルウォータークラフト安全協会、英称: Personal Watercraft Safety Association、略称: PW 安全協会、パーソナルウォータークラフト(水上オートバイ)の安全性向上に向け設立され、水上オートバイ製造販売業者、関係団体らが会員)等と連携し、不法係留の小型船舶をマリナーや漁港に誘導し、船舶の整備を徹底させ安全運航の啓蒙を通じ事故防止を図るため、河川を重点としたパトロールと啓発活動を実施。
- ・特に本年度は、連携先として福岡県と福岡市へ広げることができたことが大きな成果。

#### ◇内容

[8月27日(土): 中間市遠賀川流域パトロール]

- ・九州運輸局及び若松事務所(3人)、九州地方整備局遠賀川河川事務所(3人)、PW安全協会九州支部(2人)、日本小型船舶検査機構福岡支部(1人)、福岡県折尾警察署(1人)の総勢10人が、合同による小型船舶操縦免許の確認、小型船舶検査証書の確認等を実施。
- ・遠賀川の支流の西川においても、不法係留している船舶の船舶検査確認作業を実施。

[8月23日(火): 福岡市西区名柄川流域パトロール]

- ・九州運輸局の活動を聞いた福岡県土木整備部河川課からの要請により、九州運輸

局（４人）、福岡県県土整備事務所（２人）、福岡市河川課（２人）、福岡県西警察署（１人）の総勢９人でパトロール、不法係留している船舶の撤去に向けた活動も同時に実施。

◇九州運輸局からのメッセージ

今回のパトロールでは、現在取り組んでいる放置船対策との連携にも繋がり、今後の対策に向けたモデルケースとなりました。今後も小型船舶の海難事故減少を目指して、関係機関等と連携しながら、パトロールと啓発活動に積極的に取り組むこととしています。

◇パトロールの様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_7.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_7.pdf)

---

◆退職自衛官の再就職先に内航海運をPR

～佐世保の海上自衛隊で「海事セミナー&海運企業説明会」開催～

◎9月6、7日、海上自衛隊佐世保地方総監部等の主催で、退職予定の海上自衛官45名を対象に、内航船への再就職援護を目的とした「海事セミナー&海運企業説明会」が開催されました。九州運輸局からは海事セミナーに講師を派遣し、内航海運の現状や船員の職場を紹介しました。

◇内容

- ・退職予定の定年制自衛官（50歳代半ば）と任期制自衛官（20歳代半ば）が参加。
- ・海事セミナーでは、「内航海運業」と「船員」について、その現状や船員に必要な資格等の基礎知識、雇用情勢等を説明。
- ・海運企業説明会では、企業15社が少数面談方式で自社の船や職場環境について詳細を説明。

◇九州運輸局からのメッセージ

海上自衛隊佐世保地方総監部では、毎年200名を超える自衛官が退職しており、「船員」は、同隊での経験が活かせることや賃金面で高待遇が期待されること等から、再就職先として期待されています。参加企業からは即戦力となり得る船員確保に向けて強い意欲が感じられ、参加した自衛官からも「内航船に興味を持った」等の前向きな感想が聞かれました。今後も海事セミナー等の種々の取り組みに参画し、海運産業の人材確保に努めていきます。

◇海事セミナー等の様子は、九州運輸局メールマガジンフォトライブラリーからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_8.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_8.pdf)

---

2 お知らせ

◆くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！

～レイルフェスタ九州2016～

「鉄道の日」九州実行委員会（九州運輸局と九州管内の鉄軌道会社18社で構成）では、多くの方に鉄道に親しんでもらうために、毎年10月を「九州レイルマンス」として様々なイベントを実施しています。また、実行委員では、安全・安心で楽しく、

地球にやさしい九州の鉄道の魅力を発信するため毎年「レイルフェスタ九州」も開催しています。

今年4月に発生した熊本地震は九州全域に被害を与えました。なかでも熊本県内の被害は甚大で、今もお避難所などで暮らす人々が多数いらっしゃいます。

鉄軌道各社も大きな被害を受けました。南阿蘇鉄道、JR九州豊肥本線の被害は深刻で、現在も一部不通で再開の目途がたっていません。

このような熊本地区の鉄道の復活を支援し、熊本の皆さんを元気にするために「くまもと鉄道まつり よみがえれ熊本の鉄道！」をテーマに今年は南阿蘇鉄道、熊本電気鉄道、熊本市交通局にスポットを当て、3日間連続で「レイルフェスタ九州2016」を開催します。

- ・10月8日(土) 南阿蘇鉄道 「がんばれ南阿蘇鉄道！」(高森駅で復活イベント)
- ・10月9日(日) 熊本電気鉄道 「動く遺産特別試乗&撮影会」
- ・10月10日(祝) 熊本市交通局 「初運行! カフェトラム・バルトラム」

皆さんにご参加いただくことで、熊本の鉄道が元気になります。ご来場をお待ちしております。

※イベントは事前申込みが必要なものがあります。お問い合わせや申込書等は、こちらのURLからご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_341\\_9.pdf](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_341_9.pdf)

---

#### ◆第20回海事立国フォーラム in 北九州 2016 ～アジアへのゲートウェイとしての北九州～

公益財団法人日本海事センターでは、国土交通省や福岡県、北九州市、北九州商工会議所の後援で、「第20回海事立国フォーラム in 北九州 2016」を次のとおり開催します。皆様の参加をお待ちしています。

[第20回海事立国フォーラム in 北九州 2016～アジアへのゲートウェイとしての北九州～]

日時：10月12日(水)14:00～16:50(開場13:30～)

場所：リーガロイヤルホテル小倉「ロイヤルホール」(北九州市小倉北区浅野2丁目)

プログラム：次のとおりです。

14:00～主催者挨拶(日本海事センター会長 小幡政人氏)

14:00～講演「アジアの物流と北九州」(国土交通省大臣官房物流審議官 重田雅史)

15:15～特別講演「最近の国際物流の変化」(九州大学大学院経済学研究院教授・日本海運経済学会会長 星野裕志氏)

16:00～日本海事センターの調査研究報告

・「北九州の海事産業」(日本海事センター企画研究部次長 臼井潔人氏)

・「一帯一路構想下における中国海運業の動向」(日本海事センター企画研究部研究員 本図宏子氏)

17:00～懇親パーティ

※本フォーラムは、「事前登録制」「参加費無料」です。お問合せ先と参加申込書はこちらのURLからどうぞ。



---

◆ 9月、10月の「自動車点検整備推進運動」強化月間、実施中  
～点検・整備ではじめよう 安心クルマ生活～

国土交通省では9月、10月の2カ月間を「自動車点検整備推進運動」の強化月間として自動車関係団体等と協力し、点検・整備の必要性について強力に推進しており、九州運輸局では「不正改造車を排除する運動」と連携を図りつつ、街頭検査等のさまざまな機会を捉え、より確実な点検・整備の実施を推進しています。  
また、各県の自動車整備振興会が主催し、「自動車祭り」や「マイカー点検教室」などのイベントを行っていますので是非ご参加ください。

平成28年度点検整備推進運動強化月間中の主なイベントの開催日、場所、内容は次のとおりです。（開催日、会場等は予告なく変更される場合がありますので、詳細につきましては、各県の自動車整備振興会にお問い合わせください。）

○福岡（一般社団法人 福岡県自動車整備振興会 TEL 092-641-3171）

- ・ 9月25日（日）、門司港レトロ（門司）、門司港レトロ感謝祭り（無料点検）
- ・ 10月23日（日）、ゆめタウン遠賀駐車場（中間）、無料点検
- ・ 11月20日（日）、道の駅いとだ（筑豊）、無料点検

○長崎（一般社団法人 長崎県自動車整備振興会 TEL 095-839-1177）

- ・ 9月25日（日）、かんこう自動車学校、マイカー点検教室等

※ほか4回（4会場）開催予定です。

○熊本（一般社団法人 熊本県自動車整備振興会 TEL 096-369-1441）

- ・ 10月15日（土）、熊本運輸支局構内、自動車祭り

○大分（一般社団法人 大分県自動車整備振興会 TEL 097-551-3311）

- ・ 9月25日（日）、大分運輸支局構内、第13回自動車整備フェスティバル

○宮崎（一般社団法人 宮崎県自動車整備振興会 TEL 0985-51-5008）

- ・ 10月29日（土）、道の駅北川はゆま（延岡）、無料点検。

○鹿児島（一般社団法人 鹿児島県自動車整備振興会 TEL 099-261-8515）

- ・ 10月16日（日）、日置市吹上浜公園、交通安全フェア〈県主催〉（マイカー点検教室等）

点検整備のポスターは、こちらの URL からご覧下さい。

[http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/pdf/photo/photo\\_339\\_5.pdf](http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_339_5.pdf)

---

◆ 「秋の全国交通安全運動」実施中です  
～9月21日から30日まで～

全国交通安全運動は、広く国民に交通安全思想の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けるとともに、国民自身による道路交通環境の改善に向けた取組を推進することにより、交通事故防止の徹底を図ることを目

的としています。

平成 28 年の秋は、9 月 21 日（水）から 30 日（金）を運動期間と定め、「子供と高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、自転車の安全利用の推進（特に、自転車安全利用五則の周知徹底）、後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底、飲酒運転の根絶を全国重点として、関係団体と協力し九州各地で普及啓発活動を行っています。

また、本運動期間中の 9 月 30 日は、「交通事故死ゼロを目指す日」です。みなさん一人一人が交通安全について考え、行動し、悲惨な交通死亡事故を無くしていきましょう。

詳しくはこちらの URL からご覧ください。

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/a\\_kouan.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/bousai-q/a_kouan.htm)

---

◆九州観光復興ポータルサイト《今こそ九州へ》の「九州の観光掲示板」にはいろんな観光情報がアップされています。

こちらの URL からどうぞ。

<http://www.welcomekyushu.jp/kyushufukkou/informations/?url=informations>

---

—— 3 九州運輸局ホームページアップ情報 ——

--- 報道発表 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#HOUDOU>

--- お知らせ ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#OSIRASE>

--- 更新情報 ---

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/#KOUSIN>

////////編集部だより //

今週 20 日に鹿児島県大隅半島に上陸し、宮崎県、紀伊半島を横断した台風 16 号は、延岡市でも大雨を記録し、川が氾濫するなど被害をもたらしました。気象庁のデータによると、今年これまでに日本に上陸した台風の数 は 6 個です。ここ 10 年の上陸数は 0～4 個ですから、平年より多いようです。平成 16 年には 10 個の台風が上陸しています。まだまだ安心はできません。

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧ください誠にありがとうございます。編集部では、運輸と観光に関する取組や話題、イベントの案内、地域の情報等、本メールマガジンへの掲載記事を広く募集しています。お気軽にご投稿ください。

//

---

■本メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail\\_magazine/backnumber-top.htm](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/backnumber-top.htm)

■本メールマガジンの配信中止やメールアドレスの変更などはこちらから

[http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou\\_mail.html](http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kouhou_mail.html)

■九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail: qst-mm-kyushu@ml.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

---